



賑わいづくり特別委員会



市長へ提言書を提出

令和元年12月に天満屋2階の活用を含めた、周辺地域の賑わいづくりを検討するため、「賑わいづくり特別委員会」を設置し、この間協議を重ねてきました。今回、これまでの検討内容を提言書としてまとめ、10月14日に市長に提出しました。提言書の主なポイントについては、5ページ目をご覧ください。

9月議会

令和2年度府中市一般会計歳入歳出決算認定等を可決!!

9月定例会議は、9月6日から9月27日まで22日間開き、議案22件、報告5件、発議1件、意見書4件審議、議決しました。

主 な 議 案

- 令和2年度府中市一般会計歳入歳出決算認定について** 歳入総額276億415万円と歳出総額267億9,867万8千円、収支額8億547万2千円黒字 **認定**
- 専決処分の承認を求めることについて** 令和3年度府中市一般会計補正予算(第5号)既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,000万円を追加し、歳入歳出それぞれ230億3,081万8千円とする。(8月災害等への予備費へ繰り入れ) **承認**
- 令和3年度府中市一般会計補正予算(第6号)について** 歳入歳出総額に4億6,190万3千円を追加し、歳入歳出それぞれ234億9,272万1千円とする。 **原案可決**
- 過疎地域持続的発展計画の策定について** 過疎地域が持続的に発展可能となる地域社会の形成及び地域資源等を活用した地域活力の更なる向上を実現するため、今後5か年を計画年度として新しい過疎計画を策定した。 **原案可決**
- 教育長の任命の同意について** 平谷昭彦教育長退任に伴い荻野雅裕教育長就任 **原案同意**

発 議

- 府中市議会会議規則の一部改正について** 議会会議への欠席事由として育児、看護、介護等を明文化し、出産休暇の期間も明確にする。 **原案可決**

意 見 書 案

- コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について** **原案可決**
- 少人数学級と教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の提出について** **原案可決**
- 2022年度予算編成にあたって地方税財政の充実強化を求める意見書の提出について** **原案可決**
- 地域住民のいのちを守るための措置を求める意見書の提出について** **原案可決**

一般質問

Q &

A

9月9日、10日 13人の議員が
市政を問う！



日本共産党
ならざき まさみち
榑崎 征途

市営住宅の整備

Q 市営住宅の老朽化の状況はどうか。

A 多くは昭和30年代から50年代に建てられており、内装、外装ともかなり劣化している。府中市営住宅長寿命化計画に基づき、募集停止している用途廃止対象の住宅は棟ごとに空室となれば解体している。引き続き維持していく住宅は、長寿命化対策として計画的に修繕を行っている。



日本共産党
おかだ たかひろ
岡田 隆行

災害時、非常時での情報伝達システムの更なる確立

Q 屋外に設置された防災行政無線の信頼度をどうとらえているか。また、尾道市が導入した「防災ラジオ」を府中市としても検討していく必要はないか。

A 防災行政無線は屋内だと聞き取りづらい。特に雨の中では「何を言っているかわからない」といった点がある。また、「防災ラジオ」については、地形の影響を受ける無線を利用した伝達であり限界があるので、既存のインフラを最大限活用していきたい。



公明党
かしま ひろのぶ
加島 広宣

市民生活総合支援アプリ

Q アプリの機能により、市民サービスがどこまで可能となるのか。

A 11月1日から、府中市公式アプリ「MY府中」が稼働する。主な機能は、道路の危険箇所など、写真や位置情報

を用いての投稿・市民による地域情報の発信・地域のごみ収集日の通知・イベントや市政情報の発信・市内災害情報の共有などの機能を提供する。12月よりデジタルクーポン券の配信を予定している。



公明党
おおもと かこ
大本 千香子

防災会議の女性委員枠拡大

Q 昨年5月、国の「災害対応力を強化する女性の視点（男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン）」に地方防災会議への女性の参画拡大と災害時の性暴力、DVへの対応が明記された。女性の視点を生かした防災対策と府中市の防災会議の現状、今後の女性枠拡大への取り組みを伺う。

A 現在、防災会議委員21名中、女性は1名。条例で委員の選出枠が規定されており、どのように女性委員を増やすかは今後検討したい。



市民クラブ
どい けんじ
土井 基

年齢層別データに基づく少子化対策

Q 府中市では昨年の出生数が160人台に急減しており、さらなる学校統廃合、少子化加速という負のスパイラルに陥りかねない。福山、尾道、三原各市と比較して、どの年齢層を少子化対策のターゲットと考えているのか。

A 年齢層別の出生数平均を3市と比較すると、20代後半は3市が高く、30代前半は府中市が高く、晩産化が顕著である。年齢層は絞ってないが、府中版ネウボラを中心に手厚い子育て支援を引き続き行いたい。



市民クラブ
みずた ゆたか
水田 豊

坂根トンネルの必要性と過去の経過や実現性

Q 荒谷と木野山を結ぶ坂根トンネルは、30年豪雨で上下1府中間の交通が寸断されたことで、その必要性と期待が高まっている。市の認識を伺う。

A 出口町と木野山町を結ぶ道は平成8年度に木野山府中線として県道認定されたが、荒谷町から木野山町へのトンネル事業化はなかった。市は市街地から出口町への出口工区と出口町から荒谷町への川上工区を優先的に県と連携して整備を進めており、現在、具体的なトンネル事業の計画はない。



市民クラブ
しばうち のりあき
芝内 則明

AEDの活用

Q AED設置は、そのほとんどが建物内にされていると思うが、近年、屋外設置の必要性を言われている。市としての考え方を伺う。

A 誰もが使用できる場所として、建物の入り口等に設置をしている。公共施設は、休日等は閉館になるため、使用に当たった課題もある。実際に屋外施設で、設置ができていないかという点、まだまだそこまで至っていない。それは今後の課題であると認識している。



創生会
まるやま しげまさ
丸山 茂

今後の学校運営

Q 少子化により、児童生徒数の減少が続いている。学校の維持運営や存続させることが難しくなると考える。今後の取り組みを伺う。

A 学校を存続させるためにも、若い世代、子育て世代の転入の促進と転出抑制などの少子化対策が重要である。実際に府中に来てもらい魅力を実感していただき、若い世代が府中市に住みたい、働きたい、子育てしたいと選ばれる府中に向け取り組みを加速してまいりたい。



創生会
ひろせ かずひこ
広瀬 和彦

観光振興における方向性

Q コロナ禍により、観光によるインバウンドの需要は今後も非常に厳しいものと思われる。国内を含む内部需要や、シビックプライドの考え方を含め、方向性の見直しをすべきではないか。

A 府中市観光を支える基盤となるシビックプライド※の醸成は、多くの人々に参画していただく必要がある。今後も、若年者も含めた幅広い市民を対象に、様々な手法を通じ、持続的に取り組んでまいりたい。



四季の里「山の日」セレモニー



創生会
やまぐち こうじ
山口 康治

市民プール建て替え

Q 建て替え場所は、どこに絞り込んでいるのか。また、施設の機能のコンセプトは何か。

A 建て替え予定地は、岡田木材跡を中心に考えていく。新たなプールは、基本的には、フィットネスルームなどを備えた施設として整備するほか、道の駅など駅周辺を回遊できる形を検討する。建設費は最大で10億円程度を見込むが、過疎債を活用することで、実質負担は3割となる。B&G財団が創設を検討中の助成金なども注視している。今後3年以内の完成をめざす。



創生会
やすとも まさあき
安友 正章

地域農業振興について

Q 府中市農業振興ビジョン策定の進捗状況と農業支援のための地域商社の設立はどうか。

A 農業振興ビジョンについては、活力ある強い農業の実現と魅力ある農村の創造をテーマとして、多様な担い手に

よる活力ある農業の実現に向けてしっかりと議論を進めることとしている。農業支援のための地域商社については農業振興ビジョン策定の中で検討していきたい。



創生会
みつ かつ
三 毅

空き地の適正管理

Q 所有者不明などの放置された空き地は、雑草が繁茂するなど周辺地域に悪影響を及ぼしている。そうした状況は解消するためにも、「空き地適正管理条例」の制定が必要ではないか。

A 土地は、土地所有者又は管理者が自らの責任で適切に管理する義務がある。しかし、空き地の適正管理が困難な状況が増加することが予想される今日において、行政としても何らかの手立てを研究する必要があると感じている。



創生会
ふくだ かつお
福田 勉

防災・減災 可搬式ポンプ内水排水

Q 常設排水管設置が必要と考えるが今後の対策はどうか。

A 常設排水管の設置は、芦田川右岸線に点在する排水樋門における排水作業効率を劇的に向上させる手立てと考える。芦田川の堤防に、常設排水管が整備できれば、排水作業の準備や実作業ばかりでなく、運転操作員や交通整理員等必要人員も大きく縮小できると見込んでいる。河川管理者である国土交通省と協議を行うこととしており、一部協議を始めている。



常任委員会での審議

総務文教委員会

厚生委員会

・過疎地域持続的発展計画の策定について（原案可決）

Q 基本目標の人口に関する目標には、2030年までに社会増減を均衡にするところがあるが、本計画の中のどの事業が特に関連する施策と考えているのか。

A 社会増を図ることが重要と捉えており、まずは、働く場所があることが何よりも重要である。市内企業の流出防止や、IT系のオフィス誘致など、魅力ある成長産業を呼び込む取り組みを進める。次に、子育て、住居環境として、子育てステーション『ちゅちゅ』を中心とした、子育て世帯に対する支援、GIGAスクールや「ことば探究科」といった先進的な教育、子育て環境をアピールするとともに、桜が丘団地の新築補助制度等の活用の促進などに取り組んでいく。加えて、ま

ちのにぎわい、魅力づくりにも取り組む必要がある。i・core FUCHUがオープンして以降、市内外から若者や女性が訪れる流れを加速させたい。また、インターンシップや、ふるさとワーキングホリデーによる学生の誘致にも取り組む。関係人口の創出につなげる。これらの取り組みは、過疎計画の中に網羅的に盛り込んでおり、それぞれの施策を相互に関連させながら取り組んでいく。

・令和2年度府中市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について（認定）

Q 前年と比較して債権管理の取り組みによる滞納分が、1279万1千円減少したと評価されているが、一般被保険者の滞納繰越分の収納率は、平成30年度と比較すると、直近の2年は、低水準となっている。この主な要因は何か。また、収納率を上げるための取り組みを伺う。

A 平成29年度と平成30年度に県から収納担当監を迎え、また、市の職員を県税事務所に派遣するなどし、財産調査や、納税折衝、差押えなどについて、債権の適正管理に関するノウハウを県から注入していただいた。その成果として、平成29年度、平成30年度に、一気に成果を上げた。派遣が終了した後も、県税職員の併任人事の継続等により、ノウハウを継承し、滞納整理業務に積極的に取り組み続け、平成28年以前の水準に戻ることなく維持している。滞納分収納率は県内9位に位置し、滞納繰越分の調定額も平成28年度の2億4500万円から令和2年度は1億1400万円まで減少している。今後の取り組みとして、一つには、新たな滞納を発生させないために現年度分の滞納防止に力を注ぐ。二つ目は、滞納となった税については、

督促状や催告状の送付、分割納付の活用、また財産調査と差し押さえ処分等の執行等の滞り、納付業務を綿密に行う。三つ目は、どうしても回収困難な案件については、法に照らし合わせて不納欠損処理を行う。

建設委員会

・令和2年度府中市水道事業会計決算認定について

Q 広島県水道広域連携推進方針に基づく広域連携により、今後の水道料金などの変更はどう考えているのか。

(認定)

A 広島県水道広域連携推進方針に基づき、県と、方針に賛同する15市町で、水道事業の統合に関する基本協定を締結している。協定では統合の方法は、現行の事業ごとに経理を区分し、水道料金についても統一でなく別料金とする経営統合と定めており、現行の市町別料金を維持し、広域化の取り組み実績や経営見通しを検証・分析したうえで、料金の統一については、10年後を目途に、改めて再検討することと整理されている。今後管路や施設の更新のための財源が必要であり、料金改定を避けることは難しい状況であるが、広域化による業務の効率化として、管理部門の一元化や施設の効率化などにより、料金の値上げ幅を単独経営の場合より抑制できると見込んでいる。

決算特別委員会での審議

・令和2年度府中市一般会計歳入歳出決算認定について

総務文教分科会

(認定)

Q 「スポーツによる魅力あるまちづくり」について、新たな形の市民プールとして整備するところがあるが、具体的な計画と見通しはどうか。あわせて、芝生グラウンドについて、官民協働による整備の現と書かれているが、今後の方向性や、実現の可能性について聞く。

A 新たな市民プールの整備については、府中駅南側の岡田木材跡地に建て替えることを中心に考えている。プールの機能については、住宅や商業施設を合築する垂直型の複合ではなく、プールに最低限のフィットネスルームなどを備えた建屋を安く、早く整備することを基本とし、プール建屋以外にも、例えば、敷地内に屋外芝生広場を整備し、カフェなどのテナハウスを設置するなど、年間5万人の利用者を生かして、天満屋、i・core FUCHU、道の駅など、駅周辺のエリア全体を回遊させる方策を検討し、水平型でエリア全体にぎわいづくりにつなげていきたい。具体的には、今月、プールに付加する機能など、民間企業の市場調査、マーケットサウンディングを実施し、考えを聞きながら進め、今後3年以内に、新たな市民プールを駅周辺に整備した

い。また、芝生グラウンドについては、官民協働による整備の提案をいただき、協議を進めてきたが、基本構想や今後の進め方の検討に時間を要していた。今後は、役割分担による整備から方向転換し、芝生グラウンドのほか、照明や防球ネットなどの付帯設備も含めて、施設全体の整備を府中市が主体となり、進めていきたい。

Q 「高速情報通信基盤整備事業」については、普及率の向上、回線有効活用に向けた施策展開が必要と述べている。整備事業のメリットや、具体的なビジョンを示す必要がある、命と健康を守ることを最優先に具体化する必要があると思うがどうか。

A 光通信網は、今年の12月末には整備が完了し、府中市の各エリアを全て網羅する高速情報ハイウェイができる。現在、様々な試みとして、具体的な施策の検討を行っているものと、まだまだ抽象的な試みとがあり、今後は行政全体で横断的な取り組みを検討し、実践に結びつけたい。さらに、高齢化が進む府中市では、命と健康を守る視点から、例えば災害時に代表される市民との双方向での情報のやりとり、高齢者へのフレイルプログラムの展開、日常の健康情報のやりとりなどを、介護と医療の連携を含めて検討をしたい。

厚生分科会

(認定)

Q 府中版ネウボラ（子育て総合相談拠点）事業について、重点事業管理シート中のKPI（成果目標）の中で、子育てに関する安心感（満足度）は、健診時のアンケートによるものとされているが、数値化はどのように出されているのか。また、目標数値の根拠を伺う。

A 4か月児乳児健診時のアンケートの質問項目に「産後1か月程度で、保健師や助産師等の支援は十分に受けられたと感じたか」の回答結果を、子育てに関する安心感の数値化としている。令和2年度の回答結果は、「支援を十分に受けることが出来た」に対して、「はい」が88%、「いいえ」が3%、「どちらとも言えない」が9%となっている。目標数値の根拠となる、この質問項目については、全国的な指標、「健やか親子21」に基づいて、乳幼児健診の際の必須項目の一つとなっている。平成30年度の結果が県平均を10ポイント以上、上回る89%、令和元年度が91%となったため、府中市の目標数値は、令和2年度の目標を1%上昇として、92%とした。

Q 小児科オンライン相談の導入について、利用状況と利用者の反応やニーズを伺う。

A 利用状況については、令和2年度は、6月27日から利用を開始し、9か月間で、登録者192名、利用者17

6名、月平均約20名の利用があった。今年度8月末時点の累計で、登録者232名、利用者302名、今年度の月平均の利用者は約25名となり、徐々に利用者が増える傾向となっている。

オンライン相談の利用方法は、平日の18時から22時の時間帯におけるラインなどを使った対面方式と、24時間利用可能なメール形式の『いつでも相談』の2種類があり、利用者のうち約9割が、メール形式の『いつでも相談』を利用されている。また、小児科、産婦人科別で見ると、小児科が登録者、利用者とも約9割を占めている。

利用者の反応としては、99%が再利用の意向があった。また、利用者からのアンケート結果の内容は、「コロナもあり病院に行くべきか迷っていた」「土曜日の午後や夜中にこのサービスは助かる」「医師に相談できるのに無料なのはありがたい」「丁寧、素早い対応で感謝している」などで、内科系の症状や、皮膚科系の症状、子供の発達や離乳食について、子供の予防接種や、誤飲の対応、妊娠中の服薬についての相談などが多く見受けられた。

建設分科会

(認定)

Q 府中駅周辺整備について、JR西日本との協議と合意形成が必要となると思うが、JR西日本がテーブルについていただけるのか。現時点での感触と今後の見込みを伺う。

A 駅南北の連絡や駅前広場の構想である府中駅周辺整備の前提となるJR西日本との合意形成については、手続きを踏んでいく必要がある。その前段として府中駅周辺整備の基本構想を作成するために必要な府中駅構内測量を行っている。JR岡山支社の了解を得て今年度実施しているため、テーブルにはつきたものと感じており、この測量成果を基に素案を作成し、次年度から整備方針についての協議を行っていきたい。

Q 観光振興ビジョンの実行について、観光チャレンジ事業の廃止とあるが、今までの事業をどの様に評価しているか。

A 当補助事業は、新たに観光事業へ参画する者への立ち上げ支援であり、この制度を利用し府中市ならではの観光商品造成へ多くの方にチャレンジしていただくことで、自立した観光産業に育てるという「稼ぐ観光」の基礎づくりの段階と考えている。今後は、次の段階にステップアップしていきたいと考えており、市の補助ではなく、県や国などが設ける支援メニューを活用することで、少し規模の大きな観光商品を開発していくよう、市としても促進していきたい。

予算特別委員会での審議

・令和3年度府中市一般会計補正予算（第6号）について

総務文教分科会

Q タブレット端末（クロームブック）のメーカー保証が1年のみと聞いたが、今後の保険料は府中市として予算化することで、保護者負担はないのか。また、保険料812万円の内訳は、どうなっているのか。

A 今後の保険料は予算化し、保護者負担は求めない。保険料812万円の内訳については、クロームブック1台につき2800円で契約し、2900台分として予算化をしている。

厚生分科会

Q 新型コロナウイルスワクチン住民接種事業」について、個別接種の会場として、市立3病院は入っているのか。また、接種事業の主な内容を伺う。

A 市立3病院については、府中市民病院、府中北市民病院で個別接種をしており、湯が丘病院については個別接種を行っていないが、入院患者には、接種を行っている。接種事業の内容については、府中市文化センター、上下町民会館などの集団接種とTTCアリーナを活用した大規模接種、そして8月から開

始した個別接種の三つの体制で接種を実施している。大規模接種会場については、TTCアリーナで1日約1200回の接種を6月から8月にかけて、8日間実施した。個別接種については、現在、土日を中心とした集団接種と、平日を中心とした個別接種を併用しながら、接種機会を拡充している。

建設分科会

Q デジタルクーポンを活用した飲食店利用促進事業について、デジタルクーポンだけでなく、紙のクーポンも同時に発行され、広報誌に印刷予定となっているが、新聞購読を行っていない市民との公平性、また、デジタルクーポンとの公平性についてどのように考えるのか。

A 広報ふちゅうは、基本的には新聞折込みで配布するので、新聞購読を行っていただけない方で希望される方には、広報ふちゅうに掲載した紙面と同じものを別途作成し配布したい。紙のクーポンは、デジタルクーポンの補助的な役割として、スマートフォンをお持ちでない方など、デジタルクーポン券を使用できない方に向けて発行するものである。デジタルクーポンと紙クーポンの公平性は確保できていると考える。

常任委員会の活動報告

総務文教

総務文教委員会では、10月7、8日にオンライン行政視察を行いました。



10月7日 熊本県熊本市福祉避難所等の設置運営マニュアルについて

マニュアル策定の経緯、民間福祉事業所との協定締結の取り組み、福祉避難所や福祉子ども避難所の開設・運営に関する事項について、意見交換を行いました。特に地震災害等、避難が長期化するような災害に備えておく必要性等について、学ぶことができました。

10月8日 愛媛県松山市防災・減災に向けた取り組み、マイタイムライン普及について

防災マップ等の作成・活用、自主防災組織の活動、防災士の養成、大学との連携、マイタイムラインの普及・活用、情報伝達方法等、住民の命を守る取り組みについて意

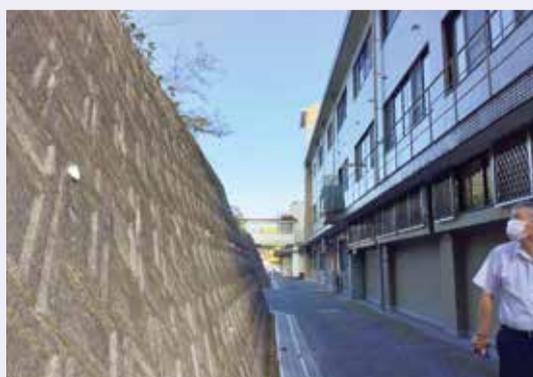
見交換を行いました。特にマイタイムラインは、個人・地域・施設のように一人が複数作成しておく必要性等について、学ぶことができました。両日の取り組みから学んだことを市政に活かしてまいります。

厚生委員会

10月1日、府中市立湯が丘病院と病院の建替構想工事スケジュールや現状の課題について現地で見聞交換を行いました。湯が丘病院は土砂災害特別警戒区域に指定されて

おり、建て替えのため急傾斜地工事を予定しています。それと並行して、老朽化した現在の病棟の建替工事を令和8年の完成を目指して行う計画が説明されました。新たな病床数は現行の308床体制から180床体制になる予定です。

病院の現状については、中山間地域での人口減少や新規治療薬の開発により、入院患者も200人程度まで減少しているとのこと。また市内と市外からの利用状況は、入院・外来とも市内の患者が3割程度を占めており、湯が丘病院は県東北広域での精神医療を担っています。



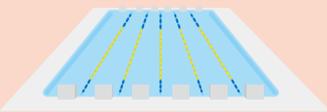
湯が丘病院裏の急傾斜地

賑わいづくり特別委員会 提言に向けての歩み

- 令和元年12月 賑わいづくり特別委員会発足
★天満屋2階の事業内容、進め方について協議・提言
- 令和3年3月 府中駅周辺の賑わいづくり全体にテーマを移して調査・研究を開始
※「こどもの国・プール」「駅周辺整備」の2つの分科会に分かれて活動
- 令和3年10月 提言にまとめて市長に提出

point

★市民プール建替えについて
・「イコーレふちゅう」周辺に複合的な機能を持つ総合プールの設置を！



point

★「こどもの国」周辺について
・西側公園は誰もが利用可能なユニバーサルデザインを！
・府中駅や道の駅とのアクセス改善を！
・駐車場の確保&整備を！
・スケートボード場やバスケットボールコートを設置を！

提言の4つのポイント

point

★府中駅周辺について
・府中駅北口の整備を！
・駅南側の市有地の整備を！
・南北の連絡をスムーズに！（踏切、歩道橋、連絡通路などJRと協議）
・駅周辺の老朽化施設の複合化、立地変更を！
・「ぐるっとバス」の市内周辺部への運行拡大を！

point

★「道の駅」について
・休業日および営業時間の見直しを！



9月議会での各議員の議決結果 (賛否が分かれたものや主なもののみ掲載しています。詳細は府中市ホームページをご覧ください)

| 議員名 | 丸山茂美 | 加藤吉秀 | 橋高尚裕 | 田邊稔 | 大本千香子 | 加島広宣 | 三藤毅 | 本谷宏行 | 山口康治 | 加納孝彦 | 水田豊 | 土井基司 | 榑崎征途 | 岡田隆行 | 安友正章 | 広瀬和彦 | 森川稔 | 福田勉 | 芝内則明 | 栗田澄子 | |
|-----|------|------|------|-----|-------|------|-----|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|-----|-----|------|------|---|
| 議案名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 人事 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 専決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 事件 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 決算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 発議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 意見書 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 意見書 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 意見書 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 意見書 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

(議長の一は採決に加わらず、○は賛成、×は反対、棄は棄権、欠は欠席、除は除斥・・・本人等に関わる議案については審議に参加できないこと)

今年の「議員と語る会」(議会報告会)は中止させていただきます



【昨年の議員と語る会(議会報告会)の様子】
—「議会だより」No.99より—

★
昨年、「3密」を避けるため換気しやすい居間に、市内4つの中学校の体育館をお借りして行いました。

昨年はコロナ感染が拡がりを見せる中、県内で議会報告会を開催したのは府中市議会を含めて2議会のみでした。

2年間取り組んできた「議会改革」のまとめや「新型コロナウイルス感染症へ議会としてどう取り組んだか」などを報告させていただき、参加者の皆さまから市議会や市政に対してのご意見やご要望を聴かせていただきました。「多くの意見が出て大変良かったと思う」「初めて参加したが、議会に対して関心が持てた」などの感想をいただいた一方で、「議員の仕事内容を若者に知らせる方策をしっかりとやってもらいたい」「町内会ごとに年1回くらいは開催して欲しい」などのご要望もいただきました。

今年は、新型コロナウイルス感染症対策としての緊急事態宣言は9月末に解除されましたが、いつまた再拡大が起こるか予断を許さぬ状況は続いております。8月末、全議員で話し合った結果、安全面を重視し、今年はやむなく議会報告会の中止を決定いたしました。

なお、議会に対してのご意見、ご要望などございましたら、これからもお気軽に議会事務局の方へお知らせください。今後の議会活動の糧とさせていただきます。 広報広聴特別委員会

議会の動き(7~9月)

- 7月2日 総務文教委員会(防災士ネットワークとの意見交換)
- 7月5日 議会運営委員会(コロナ禍を受けての議会運営方法についてと議員間討議のあり方についてなど)
- 7月6日 賑わいづくり特別委員会(議会からの政策提言に向けて各グループから素案発表・集約)
- 7月7日 広報広聴特別委員会(議会だより編集会議など)
- 7月9日 建設委員会(産業関係室の役割・実績などについて意見交換)
- 7月16日 総務文教委員会(消防団員確保の取り組みや防災・減災に関する取り組みについて、市担当部署である危機管理室と意見交換)
- 8月2日 厚生委員会(ワクチン接種の進捗状況と今後の見通しについて、担当している職員と意見交換)
- 8月6日 議会運営委員会(9月定例会の日程と運営、議員間討議方法の確認、オンライン会議の試行について)
- 8月10日 賑わいづくり特別委員会(政策提言の取りまとめのために、執行部から事業進捗の報告)
- 8月24日 建設委員会(ゴミ処理中間施設建設の地元説明会の内容について執行部から説明、その他前回の意見交換のまとめ)
- 8月25日 厚生委員会(府中市病院機構及び府中市社会福祉協議会を視察、意見交換)
- 8月30日 広報広聴特別委員会(今年度の議会報告会の実施方針について協議)
- 8月31日 議会運営委員会(9月定例会の運営取り扱いの詳細について)
- 9月10日 議会運営委員会(追加議案の取り扱いについて)
- 9月16日 総務文教委員会、分科会(9月定例会へ提案された議案等の審議)
- 9月17日 厚生委員会、分科会(9月定例会へ提案された議案等の審議)
- 9月21日 建設委員会、分科会(9月定例会へ提案された議案等の審議)
- 9月28日 賑わいづくり特別委員会(政策提言の確認、今後の取り扱いについて)

編集後記

市民と行政の新しいコミュニケーションの一つとして、11月1日より府中市公式アプリ「MY府中」の活用が始まります。もちろん、このアプリを活用するためにはスマートフォンやタブレットなどの機器を活用することが前提となります。市内の光回線整備完了とあわせて、誰でも身近で情報の入手や相談ができます。この「MY府中」を生活に欠かせないものにするには、まずは活用しやすいものに育てていかなければなりません。可能性が無限大にあるこのアプリを、市民生活の向上や防災にそして街の賑わいにつなげていけるよう市民のみなさんと共に挑戦します。(芝内)

議会だよりへのご意見・感想お待ちしております。
TEL(0847)43-7171
FAX(0847)45-3212

視察の受け入れ

コロナ感染の影響により、この間視察の受け入れはありませんでした。

議会予定

12月議会定例会は、11月30日(火)に開会予定です。